



図書館だより 10月号

土浦二高図書委員会

秋も深まり、勉強やスポーツに取り組みやすい季節になりました。「読書の秋」と呼ばれるこの時期、ぜひとも図書館に足を運んでいただき、たくさんの本を読んでください。

さて、図書館には、週刊誌や月刊誌などの雑誌を置いています。今回は、この雑誌について紹介したいと思います。



雑誌について

購読雑誌

サンデー毎日 剣道時代 ニュートン 日経ウーマン ナンバー ダ・ヴィンチ ESSE 新聞ダイジェスト からだにいいこと 栄養と料理 芸術新潮 文藝春秋 大学への数学 バンドジャーナル TARZAN 趣味の園芸 LDK 日経PC NHKまる得マガジン

雑誌の借り方

バックナンバーのみ貸出をおこなっています。（ディスプレイしてある号は貸し出ししていません。）ボックスに入っている雑誌のみ借りることができます。

雑誌を借りるときは、担当教諭に声をかけ、貸出簿に記入のうえ、借りてください。

貸出期間は1週間です。



図書委員コーナー

このコーナーでは毎月担当の図書委員が、おすすめの本や本にまつわるものを見せていただきます！

『ストロベリームーン』芥川なお（すばる舎）

満月の夜、願いが叶うと言われる「ストロベリームーン」。揺れる気持ちや進路への迷い、恋のときめき…。等身大の高校生たちの思いが心に響く、共感たっぷりの青春小説です。

登場人物たちの恋や進路への悩みが丁寧に描かれていて、私たち10代と重なる部分が多く共感しました。読み終えた後、自分の気持ちやこれからを大切に考えたいと思える一冊でした。10/17から実写化映画も公開された話題のお話です。

ぜひ読んでみてください!!

(2年2組 菊地 那菜実)



先生にインタビュー♪

阿部 真子先生

図書委員が先生方に、「おすすめの本」や「思い出の本」、また「本に関する思い出」などをインタビュー！みんなに紹介していきます。

Q1.好きな本はなんですか？

A.乙一（・中田永一・山白朝子）さんの小説は全部好きです。



Q2.好きな理由はなんですか？

A.ハッピーエンドにしろ、バッドエンドにしろ、救いがあるから。



A.『夏と花火と私の死体』乙一（集英社）

作者が16歳のときに執筆した小説です。こういう作品は若いうちに読んだ方が面白いと思います。私は中学生のときにこれを読んで何ともいえない気分でしばらく過ごしました。

Q4.本を読む楽しさはどんなところにあると思いますか？

A.人を知ることができること。作者はもちろん、人からすすめられた本を通して、その人を見つめるのもおもしろいと思います。最近「明るいいいヤツ」代表といった雰囲気の大学からの友人の1番好きな小説が小川洋子さんの『猫を抱いて象と泳ぐ』（文藝春秋）と聞いて、隠し扉が目の前に表れた感覚を味わいました。



A.図鑑、ゲームの攻略本

ネット検索にはない趣を感じます。

(2年2組 菊地美羽)

